

### めっちゃ! 笑顔の大阪へ!

大阪の合計特殊出生率は1.22で、全国平均の1.26を下回っています(全国38位)。大阪公明党は、全国先駆けとなる「子育てベーシック・サービス(仮)」を推進し、子どもを安心して産み育てられる環境を作ります。



#### 保育から大学までの完全無償化(子育てベーシック・サービス)を推進

- ▶ 無償化の対象ではない0～2歳の保育料や、大学までの授業料の完全無償化をめざします。
- ▶ その上で公明党は、まず府内「小中学校給食の恒久的な無償化」に取り組みます。  
※子どもの9人に1人、ひとり親世帯に限ると2人に1人が貧困状態との調査(厚労省調べ)

#### すべての学校体育館にエアコンを整備

- ▶ 大阪のすべての学校体育館にエアコンを整備し、猛暑による熱中症から子どもたちを守り、災害時の避難所の環境改善にもつなげます。

#### 不登校の子どもたちが学べる場づくり

- ▶ 学校内の空き教室などを活用した「スペシャルサポートルーム」の全校設置や、保護者のための相談窓口のさらなる充実、不登校児童の個性を活かせる行政サポート(オンライン学習など)の充実に取り組みます。  
※府内小中学校における不登校の児童生徒は3.3%に上り、全国平均を上回る(2022年文科省調べ)

### めっちゃ! 元気な大阪へ!

大阪の健康寿命は、男性が41位、女性が40位と全国平均を下回っています。公明党は、高齢者の皆さんが元気に暮らし、働くことができる環境と制度をつくり、シニアライフの充実に取り組みます。

#### 「Osaka 感謝ギフト(仮)」を贈呈

- ▶ 介護保険を利用しなかった高齢者の皆さんへ毎年「Osaka 感謝ギフト(仮)」を贈呈する制度をつくります。

#### 高齢者の皆さんに多様な活躍の場を

- ▶ 元気な高齢者の方がもっと働けるように、シニア就労の業種拡大や待遇面の改善を大きく進めていきます。

#### 日本一の認知症治療・先進都市へ

- ▶ 認知症に関する治療薬の早期実用化と検査治療体制の充実に図ります。  
※日本では、2025年に65歳以上の5人に1人、約700万人が認知症になると推計

### めっちゃ! 儲かる大阪へ!

大阪の一人当たりの府民所得(全国22位)は全国平均よりも低い水準です。中小企業へ税制や補助金などで支援し、最低賃金1,500円を実現するとともに、経済成長を押し進める中で“儲かる大阪”を実現します。



年度	全国順位
2011	10位
2012	10位
2013	13位
2014	13位
2015	9位
2016	13位
2017	13位
2018	12位
2019	16位
2020	22位

#### インバウンド効果で観光都市・世界NO.1の大阪へ

- ▶ 公明党は、観光都市・世界No.1の大阪をめざします。  
天下の台所・大阪の食や、文化・芸術を最大限に生かすとともに、多言語翻訳ツールの普及や、無料Wi-Fiの充実などを通して、年間3,000万人の観光客を呼び込み、大阪経済を活性化させます。



#### 成長産業・先端産業が集まる拠点「大阪の新産業ビレッジ(仮称)」を創設

- ▶ 成長産業・先端技術などの「人・もの・投資・情報」を呼び込み、新たな一大産業拠点(仮称:新産業ビレッジ)を創設し、大阪の新たな経済成長を生み出します。

#### 年収の壁を超えて共働き世帯の収入増を。「女性の働く」を応援

- ▶ 年収の壁により、働くことをためらう女性は多くいます。  
年収が106万円、130万円を超えても手取りが逆転しない仕組みをつくります。
- ▶ 正規雇用の拡大へ、必要なスキル(資格)取得のための補助制度の充実に取り組みます。



慶応義塾大学 経済学部 井手英策 教授

人間が生きる／暮らすために必要不可欠な「ベーシック・サービス」を、中間層を含むすべての人たちに無償で提供することを私は提案しています。具体的には大学、医療、介護などにかかる自己負担分のほか、給食費・学用品費なども無償化することをめざします。「弱者を助ける社会」ではなく「弱者を生まない社会」への転換——。これは、特定の誰かではなく、あらゆる人間の尊厳を守り抜く公明党の「大衆福祉」の理念と響きあう考え方ではないでしょうか。